



舟形中学校 移転年度を示せ

供用開始は令和13年度を目標



移転目標が示された築41年になる舟形中学校

【質問】 平成30年3月に、舟形中学校の移転についての質問をしました。平成28年5月の総合教育会議において移転を検討していくことを確認しているとの答弁でした。舟形町の人口動向分析・将来人口推計など参考とされるデータも数多く出されています。平成28年から8年も経過しているのに、そろそろ移転する年度を示すべきと思う

【町長】 この度、「舟形中学校移転新築基本構想（案）」として、当町が目指す保・小・中一貫教育方針のもと、舟形町の教育目標である「地域に育ち、地域を育てる町民の育成」を図ることができている、まともなところでは、内容は、児童生徒数の現況及び将来推計、目

が、町長に伺います。

【質問】 7月25日に発生した豪雨により、長尾町内にある「水上沢」、「しの沢」のえん堤から流木と土砂等が流出し、家屋や農地、三光堰等に甚大な被害が出ました。またいつ災害が発生するかわかりません。復旧工事と共に防災・減災を進めるよう、関係各所に強く要望すべきと思うが、町長の考えを伺います。

【町長】 災害復旧と共に防災・減災を進めよう、強く要望する

指す学校施設の姿、移転先候補地の概要、移転新築に向けた業務の進行計画、中学校移転後の跡地活用等についてです。供用開始時期については、国の動向等をみながら、令和13年度を目標としています。今後、舟形中学校移転新築検討委員会を設置し検討を行っていく計画です。



水上沢えん堤から流出した堆積していた大量の流木と土砂

【町長】 「水上沢」、「しの沢」については、平成30年災害以降、県選出国会議員、県知事、森林管理署、県庁河川課、森林整備課へ適時継続的に要望しております。直近では、11月22日に開催された「大雨災害に係る知事との意見交換会」において、再度被災防止のための対策について要望しました。人

家等への被害が想定される箇所、生活や経済活動に重大な影響を及ぼす箇所については、町としてより一層の危機感をもって迅速に対応していくとともに、関係各所へ、早急に調査し対策を進めるよう引き続き強く要望していく考えです。



ランチルームでのたのしい給食

【質問】 町の学校給食は、四季折々の地元食材、郷土料理など、郷土愛を醸成し生産者への感謝の心を育む目的で提供しています。保護者の負担を抑えて食材を準備しているが、平成30年度の材料費が341万円、令和5年

度は674万円と約2倍になり、今後事業の継続が可能なのか。

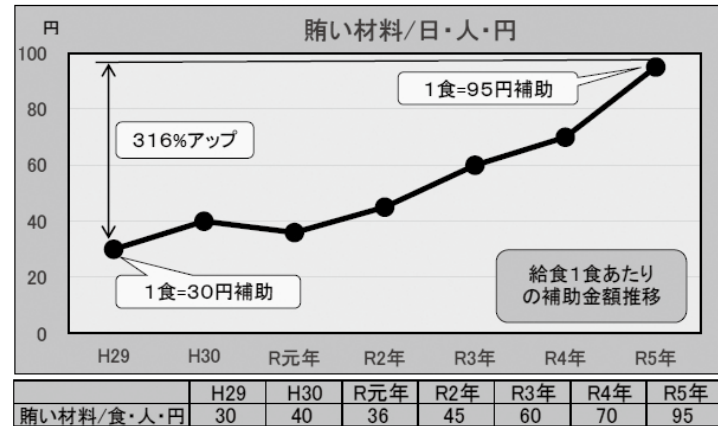
【町長】 近年の物価上昇に対する支援を行いながら、今後においても保護者が負担する給食費をなるべく増やさず、かつ、子どもたちには当町の新鮮で安全な食材を積極的に提供し続け、「日本一のおいしい給食食育推進事業」の充実のために継続してまいります。

【質問】 県内13市町村で給食費の完全無償化が実施されていますが、当町でも無償化または第2子以降世帯への割引等の検討も必要なのではないのか。

【町長】 「日本一のおいしい給食食育推進事業」については、保護者の負担軽減を目的にしている事業ではございません。子どもたちの学校給食の充実と、

当町の豊かな食文化を知ってもらい、おいしい給食を提供するための事業です。今のところは無償化の考えはございませんが、国では、こども家庭庁創設以来、全国的な給食費の無償化がうたわ

給食費保護者負担金(人/食)：小学校=265円・中学校=310円(H26年以降)



るので、将来無償化になり保護者負担が無くなったとしても、舟形町はさらに材料費に上乗せして、おいしい給食を提供して行く考えです。

なお、学校教育に係る保護者の負担軽減策につきましましては、今後検討してまいります。

日本一のおいしい給食事業の継続は
記憶に残る学校給食を提供する